

(別紙4(2))

事業所名 グループホームジョイア宇頭

目標達成計画

作成日: 令和 6年 10月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・社内研修を行っているが受ける職員と受けない職員の差が大きい ・社外研修については各自に任せっきりになってしまっている	・社内研修の参加率向上 ・社外研修への参加機会を作る	・シフトを見ながら社内研修に参加出来る方には案内をしていく ・管理者からも社外研修の紹介をする	12ヶ月
2	18	・ご利用者様本位でなく、職員本位で動いている職員がいる	・職員本位ではなくご利用者様の立場になって考え行動できるようになる	・社内研修の案内 ・不適切なケアを見かけた時の指導 ・困難事例の際には職員同士で考えて解決できる機会を作る	12ヶ月
3	25	・職員には日々のご利用者様の様子を支援経過記録に書いて頂いているが、人によって差があり情報の記録、共有が不十分な事がある。	・ご利用者様の日々の変化について、全ての職員が記録をして共有できるようになる	・記録の重要性について職員に学んでもいただく ・手本となる職員から、アドバイスを頂く。 ・記録が不十分な際にはその都度管理者からも伝える	12ヶ月
4	34	・介護経験が少なかったり、外国人職員の方がいる為、緊急時の対応不安	・全ての職員が緊急対応できるようになる	・社内研修を受けて頂く ・緊急対応を学ぶ機会を施設内で設ける	12ヶ月
5	35	・BCPを作成したが、職員が把握し運用できるレベルになっていない	・災害時、BCPを活用する事ができる	・決められた机上訓練、実践訓練以外にも災害時の対応について学び、考える機会を作る	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。